

新郷村教育委員会
校務DX計画

1. ネットワーク環境整備

- ・文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安（当面の推奨帯域）の値を参考に、ネットワーク環境の改善に取り組む。
- ・校務用ネットワークと学習者用ネットワークの統合及び、ゼロトラストを前提としたネットワーク環境の構築を目指す。

2. 校務のデジタル化

- ・次世代の統合型校務支援システムについて、県の統一仕様に基づいたシステムの導入を目指す。
- ・教職員間のコミュニケーションツールや共同作業ツール等の利活用を進め、情報共有等による校務の効率化を推進する。
- ・教育委員会と学校間の文書等の取り扱いについて、クラウドサービスの活用や文書の電子化を推進する。
- ・学校保護者間の連絡ツールについて、令和6年度に導入しており、更なる利活用に向けた取り組みを推進する。

3. 教職員用端末の整備

- ・令和6年度から令和8年度に掛けて、校務用PC端末の更新を行う。
- ・校務用端末及び指導者用端末の統合に向けた取り組みを推進する。

4. 1人1台端末の活用と個別最適・協働的な学びの充実

- ・1人1台端末を活用した個別最適・協働的な学びの充実には、教職員がソフトウェアを積極的に活用することが前提となる。そのため、各ソフトウェアの使用法に関する研修を実施するとともに、場所や時間に捕らわれない学習環境の構築を目指す。